

1.計画名称

茅野市環境基本計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	(R4・総括評価共通)この5年間を総括すると、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民参加による各種事業の中止や縮小を余儀なくされた一方で、各施策を推進するため、野立て太陽光発電設備の抑制や資源物分別収集品目の拡大、再生可能エネルギーや省エネ対策の普及啓発などの取組により、設定した目標指標を概ね達成した。
今後の重点化施策番号	4	説明	ゼロカーボンの取組による省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入、二酸化炭素吸収対策などは、地球温暖化防止のほか、産業振興や森林保全などにもつながり、これからのまちづくりの重点施策の1つに位置付けているため。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	自然の恵みを大切に受け継ぐまち ー良好な自然環境の確保ー(5)	おおむね順調	(R4評価)コロナウイルス感染症対策が落ち着いたこと、行事の再開が進められている。 (総括評価)市民参加による山岳の美化活動、里山の森林保全、里地の外来種駆除などを継続的に取り組むことができた。 農地の景観保全等のために条例を改正し、野立て太陽光発電設備の設置を抑制した。	(R4課題)新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和により、団体活動が再開できるようになったが、一度停滞した活動を従前どおりに戻すことは容易ではない状況にある。 (総括評価)各団体の会員の高齢化や担い手不足が深刻化している。	持続可能な活動団体に向けて、活動の在り方や方向性を含めた検討をする。
2	安全で人にやさしいまち ー安全な生活環境の確保ー(4)	順調	(R4評価)軽微な公害苦情等については即時解決させ、長引きそうなものについても年度内解決を目標に取り組んでいる。 合併処理浄化槽の法定検査率は順調に上昇している。 (総括評価)設定した目標指標を達成することができた。	(R4評価)人口減少による空き家や空き地など所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。また、住居地と農地との混在による野焼きなどに対する苦情も多い。 (総括評価)騒音、大気汚染については、法的な規制はクリアしているが、市民感情で苦情を相殺されるケースがほとんどである。	近所同士のトラブルにおいては、申立者の言い分だけを聞くのではなく実際に状況を確認し、公平性のある対応に努めなくてはならない。 空き家等については、他部署と連携し対応にあたる。
3	環境への負荷が少ないまち ー循環型社会の構築ー(2)	おおむね順調	(R4評価)可燃物・資源物を効率的、持続的に収集するための方策を市民に周知した。 (総括評価)人口減少、分別排出の浸透、コロナ禍の影響などにより、可燃ごみの排出量が減少傾向にある。	(R4評価)環境自治会役員の負担軽減が各地区まちづくり懇談会で話題となった。 (総括評価)排出されるごみの量は減少傾向にあるが、リサイクル率の変化は見られない。	環境自治会役員に活動実態のアンケート調査を行い、負担軽減のための方策を検討した。 この他にも、ごみの出し方のびきの作成配布等ごみ減量のPR活動を実施した。
4	地球環境にやさしいまち ー低炭素型まちづくりー【茅野市減CO ₂ 計画】(1)	順調	(R4評価)既存住宅エネルギー自立化補助制度を創設し、市民の再エネ導入に一定の効果があったと考える。 再エネポテンシャル調査実施により、2050年脱炭素に向けたロードマップの策定ができた。 (総括評価)市内から排出されるCO ₂ 量は、市民への意識啓発や再エネ導入の普及を推進したことなどにより減少した。 また、公共施設から排出されるCO ₂ 量も、職員の行動変容などにより、それぞれ中期目標として設定した削減目標を達成した。	(R4評価)既存住宅エネルギー自立化補助金の交付率が低調だった。補助制度のアナウンスを強化し、再生可能エネルギー普及のため、補助金活用件数を増やしていく必要がある。 (総括評価)2050年のゼロカーボン達成に向けて、さらなる取組が必要となる。	・再エネポテンシャル調査の結果を基に、2023年度に地方公共団体実行計画(区域施策編)の改定を行う。 ・既存住宅エネルギー自立化補助金にV2Hの区分を追加する。 ・温対協が元気づくり交付金を活用し、事業内容を拡大し、実施する。
5	協働で環境づくりに取り組むまち ー連携・参加と環境学習ー(3)	やや遅れている	(R4評価)各種市民団体との協議の中で新型コロナウイルス対策を講じて規模を縮小するなど、工夫を凝らし行事を再開した。 (総括評価)コロナ禍により、各種行事の中止や縮小により、計画どおり事業実施できず、中期目標として設定した各行事の参加者が達成できなかった。	(R4評価)コロナが収束するまでは大規模行事は困難であるため、有効な手段を検討する必要がある。 (総括評価)市民参加による行事を通じて、今後も地域の環境保全活動や環境美化活動を継続していく必要がある。	感染症対策を十分に講じる中で、市民・事業者・滞在者・市の各主体が参加し、協働で環境保全に取り組むために、活動への協力呼びかけを継続していく。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

関連市民団体等名称	主な意見	市の考えや対応など
環境審議会 開催回数 3 参加延べ人数 41	基本計画の指標・目標値の一部見直しが必要ではないか。	基本計画は計画期間の中間を迎えているため、これまで設定した指標の検証を行い、環境審議会からも意見をいただきながら必要な見直し行いたい。
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		